

2018 年度事業報告

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 会員状況

2019 年 4 月 1 日現在、正会員 A245 社、正会員 B186 社、正会員 C3,490 社 計 3,921 社となった。

2. 事業報告

(1) 会員活動

フォーラム・研究会・研究プロジェクトの充実、活性化を図り、活動を推進した。

a. 会員交流 (★ : 2018 年度新設)

(a) フォーラム

合計 349 名の方にメンバーとしてご登録いただき、前年に引き続き下記のフォーラムを開催し、活動を進めた。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(東京 1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・グローバルフォーラム(シンガポール 1 グループ)

(b) テーマ研究会

2018 年度は下記 15 の研究会を設け、622 名の方々が活動に参加した。7 月 20～21 日および 7 月 27～28 日(台風の影響で 2 日目は中止)の 2 グループに分かれ、プラザヴェルデ ふじのくに千本松フォーラム(沼津)にて合同合宿を実施した。

下期は研究会によっては JUAS アカデミーを主催するとともに、それぞれ研究成果のとりまとめを実施した。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・企業リスクマネジメント研究会
- ・ビジネスプロセス研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織人材育成研究会
- ・組織力強化研究会
- ・サービスデザイン実践研究会
- ・システム開発保守 QCD 研究会
- ・AI 研究会★
- ・デジタル化研究会
- ・ダイバーシティ&インクルージョン研究会
- ・クラウド活用研究会★
- ・エコシステム研究会

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施している。
2018 年度は下記 5 グループの申請があり、活動を実施した。

- ・情報共有研究会(継続)
- ・超スマート社会をリードする実践的 IT 人材の育成研究会(継続)
- ・IT エンジニアの副業・兼業の実践と提言研究会(新規)
- ・データエクスペリエンス研究会(新規)
- ・プロジェクト健全化研究会(新規)

(d) 研究プロジェクト

2018年度は下記の3つの研究プロジェクトを実施し、報告をとりまとめた。

- ・ソフトウェアメトリックス 2.0 研究プロジェクト
- ・IT 運用コスト研究プロジェクト
- ・システム高度化研究プロジェクト

(e) 未来ビジネスフォーラム

2017年度に引き続き、各社のデジタル化への対応について、様々な立場の方(CIO 経験者をはじめとして有識者)10名の参加を得て議論を進め、今年度も引き続き「デジタル化の進展に関する調査」を実施し、調査報告を取りまとめた。結果は2019年4月18日開催のJフェスで発表した。

(f) JUAS コミュニティ

既存の研究会・研究プロジェクトの枠にとらわれない活動を「JUAS コミュニティ」として、下記2つのグループの活動を実施した。

- ・ワークスタイル改革コミュニティ
- ・JUAS ITGC(IT Girls Community・女性IT技術者コミュニティ)

(h) 会員研究会 (JUAS アカデミー)

ITに関する最新技術、関連する政策、業界や市場の動き、海外動向等、時宜に即したテーマについて、会員を対象にした情報提供の場として「JUAS アカデミー」を開催している。

2018年度は合計28回のJUAS アカデミーを開催した。

4月には、JIS改正を受けて、「JIS改正に伴うプライバシーマーク審査基準の改定について」を8回開催し、合計349名の参加を得た。また、例年通り「Jフェス」として、2大調査(企業IT動向調査・ソフトウェアメトリックス調査)報告会+研究成果報告会を開催した。

また、上期、下期を通して2018年度は特に研究会主催のJUAS アカデミーを多数開催し、JUASの各種活動の枠を超えた情報提供や共有を行った。

(i) 関西支部

前述のIT企業トップフォーラム関西、IT部門経営フォーラム関西、ITグループ会社経営フォーラム関西のほか、ミドルマネジメントクラスの情報交換の場として、PARK(The place of advanced relationship in Kansai)を2グループ編成し活動した。

また、11月16日(金)に、主に関西方面の会員企業を対象とした「関西アカデミー」を開催し、ユーザー企業事例講演のほか、PARK活動報告、部門フォーラム関西のメンバーによるパネルディスカッション、交流会を実施し、92名の参加を得た

(c) 情報セキュリティ推進センター★

JUAS 会員企業を中心とした、企業の情報セキュリティ対応力強化を支援することを目指し、下記の活動を実施した。

①ワーキンググループ(WG)の開催

情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有と横展開を目指し、3つのWGを実施、合計36名が参加している。情報セキュリティにおける「ガバナンス」「リスク管理」「サプライチェーン」をテーマとした。

②情報発信活動として、情報セキュリティをテーマにしたJUAS アカデミーの開催を実施した。

(j) 「認定個人情報保護団体」としての活動実施に向けた登録申請★

C 会員を含めた全会員を対象に加入事業者を拡大し、個人情報保護委員会への登録申請を実施、9 月 12 日に認定保護団体として承認された。

b. セキュリティセンター

(a) プライバシーマーク審査事業

プライバシーマーク指定審査機関として、会員企業を対象に申請を受付し審査を行っている。審査件数は年々増加し、月間平均約 150 件、2018 年度は 1,840 件に達した。

申請事業者の満足度を高めるために、90 名の審査員体制を整備し、質的・量的に審査品質の向上を目指した活動を継続している。例えば、月 2 回の審査員全員が出席する審査員会議での講義・議論や、教育担当による個別指導等を通じて、審査員のレベルアップを図っている。

また、2017 年 12 月の JIS 改正を受け、4 月に JUAS アカデミーとして審査基準についての情報提供を行うとともに、会員向けの Pマークカンファレンスを 2018 年 11 月 8 日に開催し、約 500 名の参加を得た。

(2) 教育研修事業

a. オープンセミナー

2018 年度のオープンセミナーは、開催数 327 本と、前年度の 301 本を超える本数を実施した。参加人数は 2017 年度の 4,843 名に対し、4,907 名に増加した。定番として実施しているプロジェクトマネジメントやヒューマンスキル向上を目指した研修、法制度への対応等のテーマに加え、AI、RPA、データサイエンス等のデジタルに関するセミナーや初級者向けの入門コースを実施するなど、内容の拡充に努めた。

b. コース型研修

複数日の開催で、知識の習得に加えて、情報交換や他社との交流をも目指したコース型研修として、中堅層を対象にした、以下のコースを開催した。

- ・ファクトベースで学ぶ IT マネジメント力アップ集中コース
- ・IT プロフェッショナルのための英語でのトレーニング・コース
- ・JUAS カフェ(次世代 IT 部門リーダー勉強会)
- ・i コンピテンシ・ディクショナリ活用ワークショップ
- ・ポジティブメンタルヘルス推進リーダー養成講座(入門編)

c. 新人・配転者育成プログラム

新人・配転者育成プログラムは、2018 年度で 9 期を迎え 7 月に 14 社 28 名が受講、累積受講生は 245 名(48 社)となった。本年度は「システム導入体験演習」を 1 日追加するなど、カリキュラムを見直し、研修効果をさらに高めることに努めた。

d. 教育研修の受託・講師の派遣 (オーダーメイド研修)

要望に応じて企画提案し講師を派遣するオーダーメイド研修は、要望に応じて企画提案し講師を派遣するオーダーメイド研修は、2018 年度も「ソフトウェア文章化作法」「プロジェクト管理」「個人情報保護」など、定番となっているコースを中心に開催し、合計 52 開催、のべ受講者数は 2,100 人となっている。

e. 普及出版 (報告書・マニュアル・教材)

出版物は、現在 20 種類を配布・販売している。毎年発行している「ソフトウェアメトリックス調査」および「企業 IT 動向調査」が定番となっている。

f. JUAS ラボ

実験的なテーマについて、ミニ研修として紹介する「ラボ」を開催している。

2018 年度は、GDPR、ヒューマンスキル、セキュリティ、クラウド活用等をテーマに 8 回開催した。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2018

2018年9月6日(木)・7日(金)の2日間、ハイアットリージェンシー東京にて、双方向型の情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンス「JUAS スクエア 2018～未来創造～つながる想い いざ実践」を開催した。総登録数 1,136 名、のべ参加者数 1,348 名、イベント全般に対するアンケートの総合評価点も好評であった。

b. イノベーション経営カレッジ

2018 年度も引き続き、IT 活用によるビジネスイノベーションを実践できる人材を育成する場である「イノベーション経営カレッジ」を実施した。16 期プログラムは 22 名(21 社)が参加、修了者のべ数は 250 名となった。

また、新しい試みとして、事業創造のための協創の場、「IMCJ Challenge Camp」を立ち上げ、第 1 期生 13 名(10 社)が参加し、新たなビジネスモデル案の策定を実施した。

c. グローバルクリエイティブフォーラム

2013 年度から海外の大学・企業への視察を行う「グローバルクリエイティブフォーラム」を実施している。2018 年度は、「デジタルイノベーションの潮流～ドイツにおけるビジネス戦略」をテーマに、2018 年 11 月 18 日～25 日にドイツ(フランクフルト・ベルリン)への視察を実施、18 名(12 社)が参加した。現地の日系企業、新規ビジネスを興しているスタートアップ企業等を訪問した。

(4) 調査研究

a. ソフトウェアメトリックス調査

2013 年度から海外の大学・企業への視察を行う「グローバルクリエイティブフォーラム」を実施している。2018 年度は、「デジタルイノベーションの潮流～ドイツにおけるビジネス戦略」をテーマに、2018 年 11 月 18 日～25 日にドイツ(フランクフルト・ベルリン)への視察を実施、18 名(12 社)が参加した。現地の日系企業、新規ビジネスを興しているスタートアップ企業等を訪問した。

b. 攻めの IT 経営調査の実施 (経済産業省委託事業)

2015 年から「攻めの IT 経営」の普及推進に関する事務局業務を担当している。今年度は主に以下の内容を実施した。

- 「攻めの IT 経営銘柄 2018」関連
「攻めの IT 経営」に関するアンケート調査の分析／「攻めの IT 経営銘柄 2018」の普及イベントの開催
- 「攻めの IT 経営銘柄 2019」関連
「攻めの IT 経営 2019」に関するアンケート調査の実施／「攻めの IT 経営銘柄 2019」の選定

加えて「攻めの IT 経営」の普及を目指し、JUAS スクエア 2018・2 日目(9 月 7 日)に、「攻めの IT 経営」をテーマとした基調鼎談を実施した。

c. サイバーセキュリティ体制・人材調査 (経済産業省委託事業)

様々な規模・業種・成熟度の企業におけるセキュリティ体制の実態や、戦略マネジメント層に相当すると考えられる人材の位置づけ・役割・育成方法等に関する課題を明らかにするために、アンケート調査およびインタビュー調査(一部グループインタビュー形式)を実施した。

加えてサイバーセキュリティの責任者・担当者にとって、参考となるプラクティスの整理や必要な政策の検討を実施した。

(5) 企業 IT 動向調査 (公益目的支出計画実施事業)

企業の IT 投資、IT 導入状況、IT 活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施するとともに、ユーザー企業における重要課題を、様々な角度から深く掘り下げ、解決に向けた指針を提言することを目的に「企業 IT 動向調査」を実施している。2018 年度は「IT 部門に問われるデジタル変革力」を重点テーマに取り上げた。また、アンケート調査を 10 月に実施し、1,103 社からの回答を得た。郵送に加え、Web アンケートによる回答を併用して実施した。また、インタビュー調査は 11 月～2 月に 52 社を訪問した。